



文化財防火デー 地域連携の防火訓練を実施

1月18・31日木幡神社や寺山観音寺など市内文化施設で、矢板消防署・市消防団と地域の方が参加し、設備点検や通報・放水訓練などが行われました。これは、市民の文化財愛護意識を高めるため、毎年、文化財防火デーに合わせて実施しているものです。消防署員は「万が一の際、最初の発見者となるのは地域の方。的確かつ迅速に連携できるよう、日頃の訓練が重要であり、地域の皆さんの訓練協力に感謝」と話しました。



▲木幡神社での放水訓練

大田原信用金庫様より子どもたちへ 今年も「だいしん文庫」をお届け

1月20日市役所で、寄附贈呈式が行われ、大田原信用金庫様より児童図書購入費として20万円の寄附をいただきました。今年で18年連続の寄附となります。購入した図書は、市立図書館で貸し出しされるほか、「だいしんパック」として、市立小中学校に巡回で貸し出しされるなど、子どもたちの読書活動を支援しています。

市長は「矢板市の読書教育の礎になっている。長年の功績に感謝」と謝辞を述べました。



▲(左から) 森島市長、大田原信用金庫 橋本理事長

インスタントハウスで地域防災 (株) LIFULL ArchiTech と包括連携協定

1月23日市役所で、インスタントハウスを扱う(株) LIFULL ArchiTech 様との包括連携協定締結式が行われました。インスタントハウスは、短時間で建設可能な高断熱型簡易住宅で、本協定を機に、災害時の避難場所として活用を進めます。市長は、「フェーズフリー型防災としての活用も視野に入れ、平時の取組を災害時にも生かしながら、地域防災・防災教育を軸とした協力体制を構築し、安心して過ごせる環境づくりに取り組みたい」と話しました。



▲(左から) 森島市長、(株) LIFULL ArchiTech 山中取締役 COO

あいおいニッセイ同和損害保険(株) 地方創生に関する包括連携協定を締結

1月23日市役所で、あいおいニッセイ同和損害保険(株) 様と地方創生に関する包括連携協定締結式が行われました。本協定は、罹災証明書の申請支援や、ドローンで撮影した被災状況画像の提供など、災害対応に関するサポートを行うもので、地方創生に向けた幅広い内容となっています。梅田理事栃木支店長は「地域のまち・ひと・仕事に関する課題解決のための支援をしてきた経験を生かし、持続可能な地域づくりのお手伝いできれば」と話しました。



▲(左から) 森島市長、あいおいニッセイ同和損害保険(株) 梅田理事栃木支店長

学校給食に地元産いちご JA しおのや様から 10 回目の贈呈

1月26日乙畑小学校で、いちごの贈呈式が行われました。これは、JA しおのや様が塩谷地区の小中学校へ地元の特産品を学校給食として提供し、食への関心を高めるとともに、食を支える農業の役割を感じてもらうことを目的に実施しているもので、今年で10回目となります。渡邊専務は「関心を持って食べてもらえるとうれしい」、児童は「端から端まで真っ赤ないちごで、きらきらして見えた。食べるのが楽しみ」と笑顔で話しました。



▲(左から) 大澤常務理事、渡邊専務、八巻 洸亮さん、郷原 華さん、伊藤教育長、桑原校長

日本一続々受賞 功績を称え、矢板高校へ市長特別賞、授与

1月29日、全国お米甲子園2025と全国高校生農業アクション大賞で、それぞれ最高賞を受賞した矢板高校農業経営科の生徒たちが、市長を表敬訪問しました。これらの功績を称え、最高金賞のお米を作った作物専攻チームと、持続可能な畜産研究で大賞に輝いた畜産専攻チームそれぞれに、市長特別賞が授与されました。

市長は「両取組とも、背景には地域の方との連携が

あり、地域のきずなが評価されたこともうれしい。引き続き誇りを伝承し、さらなる高みを目指してほしい」作物専攻の生徒は「念願の最高賞を受賞できてうれしい。後輩には2連覇を目指してほしい」、畜産専攻の生徒は「がんばってきたことが結果につながってうれしい。今年見つけた課題は後輩へ引き継ぎ、研究をブラッシュアップしてほしい」と話しました。



築35年リフォーム見学会
『子育てを終え
二人の時間を
楽しむために』
私たちに任せください。有資格者が対応します。

矢板市片岡
3月20日(祝)
3月21日(土)

ドクターリフォーム
Banana works LABO
宇都宮市岩本町 394-11
028-621-6551

矢板中央が県高校サッカー新人大会 3 連覇 無失点 V もさらなる成長へ

2月1日 Honda Heat・グリーンスタジアムで、県高校サッカー新人大会決勝が行われ、矢板中央高が佐野日大高に 3-0 で勝利し、大会 3 連覇を果たしました。前半早々に先制点を挙げ、前半のうちに 3 点を挙げる危ない試合運びでの勝利となりました。今大会では全試合無失点での優勝を成し遂げましたが、関係者からは「後半の戦い方がまだまだ」などの声も聞かれ、2年生主体の新チームへの期待の高さがうかがえました。



夢を語り、音楽でつながる トーク & ライブ「夢中人 2」開催



当日の様子

2月1日文化スポーツ複合施設で、生涯学習フェスティバル実行委員会と高校生団体 YAD のコラボ企画「夢中人 2」が開催されました。当日は、楽曲「夢中人」を歌うロックバンド Surpass を招き、市ゆかりの人たちと「夢・夢中」をテーマとしたトークセッションを実施。Surpass による生ライブでは、大人も子どももペンライトを振って盛り上がりました。会場内には、東色ピグメント(株)によるボディペイントのほか、夢中人グッズが当たる「夢中番くじ」などのブースも並び、来場者はもちろん、企画に携わった中高生も、夢中になって楽しみました。



留学中に年齢関係なく学び直せる環境の大切さを学びました。そんな環境を作りたいです。

支えてくれる人がいるから前に進めます。その存在を大切に、夢に向かってがんばって!

僕が 25 歳でドラムからギターに転向したように、年齢は関係ない。新しい一歩は自分次第。

人生は挑戦の繰り返し。失敗してもいい。やりたいことには挑戦してみてほしいです。

Surpass ともご縁があって出会えました。人とのつながりを大切にすることも夢につながるはず。

4月からロケットエンジンの設計に挑戦します。周囲への感謝の気持ちを忘れずに、全力で!

